

蘇南中だより



自己を生かす生徒
助け合い励まし合う
知恵を働かす
たくましくやりぬく
令和5年6月1日発行

体育大会 個性を磨く～仲間と共に支え合う～

教頭 橋本 文洋

5月24日（水）に全校体育大会を行うことができました。昨年度までは学年体育大会でしたが、今年度は全校での実施となりました。コロナ禍から通常の生活に戻りつつあります。全て元に戻るのではなく、より効果的に、充実させていくためにはどうしたらよいかを考えながらすすめているところです。

8日からは、事前の取り組み（時間行動）を行いました。時間を意識して、みんなが授業の始まりを迎えられるよう一生懸命呼びかけを行ってきました。朝の始まり、授業時間、掃除の始まりなどを意識することで生活を高めることができました。

大縄跳びでは、昨年度はクラスを半分に分けて跳びましたが、今年は全員が一緒に跳びました。縄を回す人、そしてみんなの跳ぶタイミングを合わせるのが難しくなっています。練習をするたびに上手になっていくのが伝わってきました。

台風の目は、仲間と協力し合い、お互いをよく見て考えながら行う競技です。気持ちをそろえて走りきることができました。

選手リレーでは、全校生徒のテンションが最高潮になりました。ここ最近、これだけ大声で応援したことがあったでしょうか。

体育大会では、生徒も保護者も学校職員もすてきな笑顔でいっぱいでした。多くの保護者の方に来ていただき、生徒たちは自分たちの活躍する姿を見てもらえることがとてもうれしかったようです。ここ数年はリモート配信が多かったのですが、直接、リアルな姿に触れ、肌で温度を感じ、ぞくぞくとしたのではないのでしょうか。

閉会式の生徒会執行部や校長先生のお話からは共通して、体育大会スローガンにある「仲間と共に支え合う」というキーワードがうかんできました。そのことが生徒の姿から感じられる行事になりました。

